

「時が近い！」 黙示録22章10～12節

I 預言の開封

「封印」とは、責任者の印を押して、他人が無断で開けないようにする事です。主イエスの墓には封印がされ（マタイ27:66）、悪魔の場合には、底知れぬところに閉じ込められて封印されます（黙20:3）。

黙示録には、7つの封印がなされた巻物があり、その封印を解く事が新しい世界の開始、逆に言えば今の世界の終結とされており、それを基督が解くことが預言されています（黙5:1-8:1）。

それに対して、黙示録に記録されている全ての事については、基督は封印を禁じております。とかく貴重な文書は厳重に封印されて保管されるものですが、基督は封印を禁じ、一般公開を求めています。

その理由は、時が近いからです。「何の時」と言えば、世界の「完結の時」です。「世の終わり」とか、「世界の終末」などと言われますが、単なる終点ではなく、完成の時、完了の時、完結の時なのです。

言わば、現世は、完結を目指して歩んでいる途上なのです。無神論、進化論では、終末とは破局であり、破滅です。無計画に動いている世界なので、完成はありません。

しかし、神によって創造されたこの世界は、神の意思に基づいて創造され、神の意思によって運行され、究極の目的に向かって進んでいるのです。それが「完結の時」です。

II 聖を重ねよ

基督は、「悪人は悪を重ね、穢人は穢を重ね、義人は義を重ね、聖徒は聖を重ねよ。」と言います。文字通りに解すれば、「最早、どうこうすることもできない」という事になります。これほど怖いことないですね。

あえて、悪人に「悪を改め、正義を目指せ」とは言わず、穢れ人に「穢れを離れ、正を目指せ」とは言わずに、「どんどん悪を行え」「どんどん穢れを行い」と言うのです。最高の福音ではないでしょうか。

当然、「義人は義を重ねて、高い義に至り、聖徒は聖を積んで、大聖徒になれ」というメッセージです。「義人」と思っていたら大間違い。それでは失格だぞ。聖徒と呼んで呼ばれているなら、基督の御丈と比べてみる。」と言われているように感じられます。

III 行いに応じ

黙示録には、「直に来る」という表現が、ここを含めて4回出てきます（3:11、22:7,12,20）。

ここで問題になるのが、というか、昔から問題にされて来たのが「直に来る」という意味です。「直ぐ」「直ちに」「速やかに」って、どういうことでしょうか。

「直ちに」「直ぐに」「速やかに」とは、事情や状況に応じて時間を置くことなく対処することでしょう。

それにしても、基督が「直ぐ来る」と言われてから、ヨハネの生涯にも現れませんでしたし、初代教父の時代にも、中世にも、近世になり、近代になっても、現代になっても、来られないままというのは如何なるのでしようか。

ということでは、「嘘つき神学」とか言われたりしています。

私たちは、神によって造られた地球の上で生かされていますから、地球の自転に合わせた時間で生活していますが、神は創造主ですから造られた世界に拘束されません。時間のない永遠の存在なので、天地創造も、基督の十字架も、現在も、終末も、私たちの感覚で言えば「同じ時」なのです。

その意味では、基督の昇天も、基督の再臨も、「同じ時」であり、「直ちに」なのです。それを展開すると「予測ができない」「突然に」という意味にもなります。

福音書に語られた喩えによれば、畑に二人いると一人は取られ、一人は残され、二人の女が臼を引いていると一人は取られ、一人は残されると書かれています（マタイ24:40-41、ルカ17:35）。

基督は「行いに応じ各人に報う我が報い、我に在り」と言います。全ての人間は、神の代官として、神の事に奉仕するために創造された（創世記1:26-28）のです。その意味で、世界の完結の時に、与えられる基督の報いとは奉仕の対価でしょう。「我に在り」という言葉で、その対価が基督の評価に基づく事が示されています。

基督による完全な評価に基づいて、一人一人に、その行いに応じて、対価が与えられるのです。決して、信じたなら天国というほど単純ではないでしょう。

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讚美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讚美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

【新改訳 2017】

黙示録 22:10 また私に言った。「この書の預言のことばを封じてはなりません。時が近いからです。」

22:11 不正を行う者には、ますます不正を行わせ、汚れた者は、ますます汚れた者とならせなさい。正しい者には、ますます正しいことを行わせ、聖なる者は、ますます聖なる者とならせなさい。」

22:12 「見よ、わたしはすぐに来る。それぞれの行いに応じて報いるために、わたしは報いを携えて来る。」

彼（基督）、我（ヨハネ）に言う。

「この書物の預言の言葉を封印する勿れ。」

時が近い故なり。

悪人は悪を重ね、汚人は汚を重ね、

義人は義を重ね、聖人は聖を重ねよ。

見よ。我直ちに来る。

行いに応じ各人に報う我が報い、我に在り。」

【NKJV】

Rev

22:10 And he said to me, "Do not seal the words of the prophecy of this book, for the time is at hand.

22:11 "He who is unjust, let him be unjust still; he who is filthy, let him be filthy still; he who is righteous, let him be righteous still; he who is holy, let him be holy still."

22:12 "And behold, I am coming quickly, and My reward is with Me, to give to every one according to his work.